令和７年度
厚生労働科学行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

# 生活のしづらさなどに関する調査の調査票改訂に関する研究
## ―令和４年調査における当事者・家族の意見・要望の分析に基づく改善提案―

研究分担者　清野　絵　　国立障害者リハビリテーションセンター 研究所

研究要旨
本研究は、令和４年生活のしづらさなどに関する調査の自由記述式回答「調査の方法や内容の改善に関する意見・要望」（問 37）への 1,353 件の有効回答を対象に、令和６年度に実施したテキストマイニングおよび内容分析の結果に基づき、調査票改訂に向けた改善案を提示したものである。主な論点は、①調査の目的・趣旨および対象者に関する説明の充実、②配布・訪問時のプライバシー保護への配慮、③設問・選択肢のわかりやすさと回答しやすさの改善、④多様な回答手段の導入の検討の４点に整理された。個別設問では 13 問にわたり具体的な改善の意見・要望が確認された。これらの結果が、今後の調査設計・運用に反映されることで、障害のある当事者・家族の意見がより適切に収集できるようになることが期待される。

A．研究目的

本研究は、今後の「生活のしづらさなどに関する調査」の改善に向けた基礎資料を提供することを目的とする。具体的には、令和４年調査において当事者・家族から寄せられた「調査の方法や内容の改善に関する意見・要望」の自由記述回答を令和６年度に分析し、その結果に基づき、今後の調査票改訂に資する改善提案を示す。

B．研究方法

令和６年度の研究おいて、令和４年生活のしづらさなどに関する調査における下記の自由記述設問への回答を分析対象とした。

問 37「この調査の方法や内容についての改善について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。」

分析方法は、テキストマイニングおよび内容分析とした。テキストマイニングに使用したソフトウェアは KH Coder 3 である。テキストマイニングは、テキストデータを量的に分析する方法であり、データ探索と信頼性の向上に寄与すると言われている[1]。

得られた分析結果をもとに、設問項目・調査設計・調査実施方法の各事項について個別に検討を行い、調査票の改訂に向けた改善案を提示した。

（倫理面への配慮）

本研究は、公的統計調査の二次分析結果を報告した公開済み報告書を対象とした検討であり、個

人情報を直接取り扱うものではない。そのため、倫理面への配慮が必要な研究には該当しない。

C．研究結果

意見・要望と改善案の概要を表 1 に示す。

1. 設問全体

(1)意見・要望

調査票全体・設問・選択肢について、わかりにくく回答しにくいという意見が複数寄せられた。用語の難解さや選択肢の選びにくさに加え、説明があっても理解できないケースが確認された。

(2)改善案

誰もが理解しやすい表現への改善が求められる。改善案は、設問・選択肢・用語をできる限り平易な表現に改める。回答に迷いやすい箇所には具体的な回答例を付記するが考えられる。

2.個別設問

(1)問 3　性別

①意見・要望

「その他」「回答しない」等の選択肢がほしいという回答が確認された。

②改善案

「その他」「回答しない」の選択肢を用意する、またはそのように回答できるようにするが考えられる。

(2)問 11　難病

設問を図 1 に示す。

①意見・要望

設問の意味がわからない。自分が難病かどうか判断しにくく回答しづらい。指定難病の一覧を QR コードで参照できるようにしてほしいという回答が確認された。

問 11（難病）
これまで難病と診断されたことはありますか。
あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
※この設問における「難病」とは、発病の機構が明らかでなく、かつ、治療法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなる疾病を指します。
※この設問における「指定難病」とは、難病のうち、難病法に基づき、医療費助成の対象となる疾病として定められた 338 疾病を指します。

図 1.問 11

②改善案

設問の文言をわかりやすく改める。指定難病 338 疾病の一覧を別紙に添付するか、公式サイトへの QR コードを付記することで、より正確な回答を促すが考えられる。

(3) 問 13　心身の状態

設問を図 2 に示す。

①設問全体

・意見・要望

「選択肢に中間の段階がほしい」という回答が確認された。

・改善案

「苦労します」等の中間選択肢を追加する。または、「あてはまるもの」を選ぶ形式から「最も近いもの」を選ぶ形式に変更するが考えられる。

②眼鏡（設問①）

・意見・要望

障害によるものか視力低下によるものか判断に迷う。という回答が確認された。

・改善案

回答の判断基準を示す説明を追加するが考えられる。

③補聴器（設問②）

・意見・要望

問 13（心身の状態）
心身の状態に関する①～⑩の設問それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
① 眼鏡をしても見えにくいといった苦労はありますか。
1　苦労はありません。
2　多少苦労します。
3　とても苦労します。
4　全くできません。
② 補聴器を使用しても聞き取りにくいといった苦労はありますか。
1　苦労はありません。
2　多少苦労します。
3　とても苦労します。
4　全くできません。
⑦ 2 リットルの水かソーダのボトルを腰から目の高さに持ち上げることが難しいといった苦労はありますか。
1　苦労はありません。
2　多少苦労します。
3　とても苦労します。
4　全くできません。
⑨ 心配、緊張、不安等をどのくらいの頻度で感じますか。
1　毎日
2　週に 1 回程度
3　月に 1 回程度
4　年に 2、3 回程度
5　全くない
【1～4 と答えた方のみお答えください】
補問　最近感じた心配、緊張、不安等の程度はどのくらいでしたか。
ア　ひどく
イ　かなり
ウ　すこし
エ　わからない
⑩ 気分が落ち込むことがどのくらい頻繁にありますか。
1　毎日
2　週に 1 回程度
3　月に 1 回程度
4　年に 2、3 回程度
5　全くない
【1～4 と答えた方のみお答えください】
補問　最近気分が落ち込んだ時の程度はどのくらいでしたか。
ア　ひどく
イ　かなり
ウ　すこし
エ　わからない

図 2. 問 13（一部）

補聴器を使用しなくても聞こえる場合、どの選択肢を選べばよいかわからない。という回答が確認された。

・改善案

「支障がない場合は『苦労はありません』と回答する」等の具体的な回答例を追記するが考えられる。

④ボトルを持ち上げる（設問⑦）

・意見・要望

両手か片手かがわからない。という回答が確認された。

・改善案

片手・両手の別を明示した説明を追加するが考えられる。

⑤心配、緊張、不安（⑨）・気分の落ち込み（⑩）

・意見・要望

選択肢がわかりにくく、中間の選択肢がほしいという回答が確認された。

・改善案

「最も近いもの」を選ぶ形式に変更するが考えられる。

(4) 問 14　日常会話の聞きとり

設問を図 3 に示す。

問 14（日常会話の聞きとり）
補聴器や人工内耳を使用しない状態での日常会話の聞きとりの状況について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1　会話の聞き取りに困難は感じない
2　小さな声や雑音の中での会話で、聞き間違いや聞き取りの困難を感じることがある
3　普通の大きさの声の会話で、聞き間違いや聞き取りの困難を感じることがある
4　非常に大きな声でないと会話が聞こえず、聞こえても聞き取りには限界がある
5　耳元で非常に大きな声で会話してもほとんど聞き取れない

図 3.問 14

①意見・要望

声は聞こえるが内容が聞き取れない場合、どの選択肢を選ぶべきかわからないという回答が確認された。

②改善案

選択肢の表現を修正するか、状況に応じた回答例を示すが考えられる。

(5)問 15　生活のしづらさ

設問を図 4 に示す。

問 15（生活のしづらさ）
最近の日常生活を送る上での生活のしづらさはどのようなものですか。①～⑬の設問のそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

① 食事をする
1　一人でできる
2　時間をかければ一人でできる
3　見守りや声掛けがあればできる
4　手伝ってもらえばできる（一部介助が必要）
5　自分ではできない（全部介助が必要）

⑫ 自分の意思を伝える
1　誰にでも伝えることができる
2　家族や友人など特定の人には伝えることができる
3　介助（手話通訳や機器の使用等）があれば伝えることができる
4　伝えることができない

⑬ 相手の意思を理解する
1　誰の意思でも理解することができる
2　家族や友人など特定の人の意思は理解することができる
3　介助（手話通訳や機器の使用等）があれば相手の意思を理解することができる
4　理解することができない

図 4.問 15（一部）

①意見・要望

全体および⑫⑬の選択肢がわかりにくいという回答が確認された。

②改善案

わかりやすい表現に改め、必要な説明を追加するが考えられる。

(6)問 17　日中の過ごし方

設問を図 5 に示す。

問 17（日中の過ごし方）
日中はどのように過ごしていることが多いですか。最もよくあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1　仕事をしている　⇒補問 (1) もお答えください。
2　教育・保育・療育を受けている（幼稚園・保育園・小中学校・高校・大学・大学院・専門学校・塾等を含む）　⇒補問（2）もお答えください。
3　仕事や教育・保育以外の活動をしている　⇒補問（3）もお答えください。

図 5.問 17

①意見・要望

設問がわかりにくく回答に迷った。当てはまる選択肢がないという回答が確認された。

②改善案

設問に説明を追加する。「その他」の選択肢を設けるが考えられる。

(7) 問 19　同一世帯の方

設問を図 6 に示す。

問 19（同一世帯の方）
あなた（調査の対象となる方）とふだん住居と生計を共にしている方（同一世帯の方）はいますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
1　いない（単独世帯）
2　いる　⇒補問（1）もお答えください。

図 6.問 19

①意見・要望

表現がわかりづらいという回答が確認された。

②改善案

わかりやすい表現に改めるが考えられる。

(8)問 23・問 24　身体機能を補う用具／意思疎通を支援する手段・機器・サービス等

設問を図 7、8 に示す。

問 23（身体機能を補う用具）
身体の機能を補うための用具のうち、日常的に利用するものについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
1　利用している　⇒補問（1）もお答えください。
2　利用していない　⇒補問 (2) もお答えください。
【1　利用していると答えた方】
補問（1）利用している用具の詳細について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

ア　補聴器
イ　人工内耳
ウ　重度障害者用意思伝達装置
エ　白杖
オ　遮光眼鏡・弱視用眼鏡
カ　義肢（義手・義足）・装具
キ　歩行器・歩行補助杖
ク　車いす・電動車いす・座位保持装置
ケ　その他（　　）

図 7.問 23

問 24（意思疎通を支援する手段・機器・サービス等）
他人との意思疎通を支援するための手段･機器･サービス等のうち、日常的に利用するものについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
1　利用している　⇒補問（1）もお答えください。
2　利用していない　⇒補問 (2) もお答えください。
【1　利用していると答えた方】
補問（1）利用している手段・機器・サービス等の詳細について､あてはまるものすべてに○をつけてください。

見えづらさがある方向け
ア　点字・点字タイプライター・点字ディスプレイ・点字盤
イ　指点字
ウ　触手話
エ　読み上げ機能付き機器
オ　拡大読書器
カ　その他（　　）

聞こえづらさがある方向け
キ　手話・手話通訳（派遣、遠隔サービスを含む）
ク　筆談・要約筆記（派遣、遠隔サービスを含む）
ケ　読話・口話
コ　電話リレーサービス
サ　補聴援助システム（ヒアリングループ、会議用拡聴器、MI リンク）
シ　音声認識ソフト
ス　その他（　　）

伝えづらさがある方向け
セ　筆談器
ソ　人工喉頭
タ　コミュニケーションボード（絵・カード等）
チ　その他（　　）

図 8.問 24

①意見・要望

問 23 の「用具」と問 24 の「機器」が同一のものを含むのか別なのかわからない（例：補聴器)。問 24 の補問がわかりにくいという回答が確認された。

②改善案

用具と機器の違いを明示する説明を追加する。補問の表現をわかりやすく改めるが考えられる。

(9)問 27　障害福祉サービス

設問を図 9 に示す。

問 27（障害福祉サービスの利用状況）
障害福祉サービスの利用状況について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
1　障害福祉サービスを利用しており､障害支援区分の認定を受けている
　⇒補問（1）と（2）もお答えください。
【1　障害福祉サービスを利用しており､障害支援区分の認定を受けていると答えた方】
補問（1）あなたの障害支援区分について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
ア　区分 6（支援を必要とする度合いが最も高い)
イ　区分 5
ウ　区分 4
エ　区分 3
オ　区分 2
カ　区分 1

図 9.問 27

①意見・要望

補問(1)について、証明書を確認したが区分の記載箇所がわからないという回答が確認された。

問 28（特に必要と感じる支援）
あなた（調査の対象となる方）が、特に必要と感じている支援はどのようなことですか。下記の 1 から 35 までのうち、主なものを 7 つまで○をつけてください。
1　身近な医療機関に通院して医療を受けること
2　在宅で訪問診療、訪問看護を受けること
3　専門性の高い医療を受けること
4　医療費の負担軽減
5　障害の進行・二次障害を予防すること
6　リハビリ・自立訓練を受けること
7　障害の早期発見・早期療育のための支援の充実
8　保育園の充実
9　特別支援教育の充実
10　合理的な配慮（それぞれの特性や困り事に対する対応）のある学校等の場の確保
11　仕事に就くこと・続けることを容易にする制度の充実
12　合理的な配慮（それぞれの特性や困り事に対する対応）のある働く場や活動の場の確保
13　障害をもつ人の家族に対する支援事業（休息のための一時入所〈レスパイトケア〉等）
14　支援指導、相談等
15　障害者への理解を深めるための教育・機会の充実
16　障害をもつ人の権利や人権を守るための支援
17　外出・移動の支援
18　スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助
19　地域の人々との交流機会の拡大
20　道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること（バリアフリー等）
21　障害に関した情報提供の充実（点字図書、録音図書、手話誌、手話放送、ルビ、電子図書等）
22　入所サービスの利用
23　通所サービス（デイサービス等）の利用
24　訪問サービス（ホームヘルプ等）の利用
25　意思疎通支援サービスの利用
26　質の高い補装具の装用
27　日常生活用具を利用するための支援を受けること
28　障害をもつ人に適した住宅の確保
29　自宅の改修
30　手当・年金・助成金等の経済的援助の充実
31　災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の充実
32　相談対応等の充実
33　親亡き後の生活支援
34　除雪・草刈等の支援
35　その他（　　）

図 10.問 28

①意見・要望

「主なもの 7 つに絞る」ことが難しい。選択肢が次ページに続いていることに気づかなかったという回答が確認された。

②改善案

「上位 7 つを選ぶ」または「すべて選ぶ」に変更することを検討する。選択肢が次ページに続く場合は「次ページにつづく」と明記するが考えられる。

(11)問 29　収入を得る仕事

設問を図 11 に示す。

問 29（収入を得る仕事）
現在、収入を得る仕事をしていますか。また、今後、収入を得る仕事につくことについてどのように考えていますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
1　現在、収入を得る仕事をしている　⇒補問（1）もお答えください。
2　現在、収入を得る仕事をしていない（就学中の場合を除く）　⇒補問（2）もお答えください。
3　現在、学生であり、収入を得る仕事をしていない　⇒補問（3）もお答えください。
【1　現在、収入を得る仕事をしていると答えた方】
補問（1）仕事の継続の希望について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
ア　現在の仕事を継続したい
イ　現在の仕事以外の収入を得る仕事を継続したい
ウ　仕事を継続したくない
【2　現在、収入を得る仕事をしていないと答えた方】
補問（2）今後の希望について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
ア　今後、収入を得る仕事をしたい
イ　今後、収入を得る仕事をしたくない
ウ　今後のことはわからない
【3　現在、学生であり、収入を得る仕事をしていないと答えた方】
補問（3）今後の希望について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
ア　卒業後、収入を得る仕事をしたい
イ　卒業後、収入を得る仕事をしたくない
ウ　今後のことはわからない
【補問（2）で、ア　今後、収入を得る仕事をしたいと答えた方】
補問（A）どのような雇用形態等を希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
ア　正職員　⇒補問（B）もお答えください。
イ　正職員以外（アルバイト、パート、契約職

員、日雇い等）　⇒補問（B）もお答えください。
ウ　自営業（家の仕事の手伝いを含む）
エ　就労継続支援 A 型
【補問（A）で、ア　正職員　又はイ　正職員以外と答えた方】
補問（B）障害者向け求人に応募したいですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
ア　障害者向け求人に応募したい
イ　障害者向け求人に応募したくない
【補問（2）又は（3）で、イ　収入を得る仕事をしたくないと答えた方】
補問（C）理由について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
ア　体力の面で不安がある
イ　人間関係で不安がある
ウ　やりたい仕事がない
エ　他にやりたいことがある
オ　その他（　　）

図 11.問 29

①意見・要望

「働いていない」という選択肢がほしい。就労継続支援 B 型も収入を得る手段として選択肢に含めてほしい。補問に「その他」や当てはまらない場合の選択肢がほしいという回答が確認された。

②改善案

「現在、収入を得る仕事をしていない」の選択肢に「(働いていない)」の説明を付記する。就労継続支援 B 型を選択肢に加える（工賃の性格に応じた分類を検討)。補問に「その他」を追加し、表現をわかりやすく改めるが考えられる。

(12)問 31　医療を受ける頻度

設問を図 12 に示す。

①意見・要望

複数の通院先があり、1 つに絞れない。選択肢②「生活のしづらさと直接関連のない通院」の意味がわからないという回答が確認された。

②改善案

最も頻繁に受診している通院先を選ぶよう明示

問 31（医療を受ける頻度）
あなた（調査の対象となる方）が医療（通院、在宅医療、定期入院等）を受ける頻度は、平均するとどれくらいになりますか。①と②の設問それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
※在宅医療に往診は含みますが、訪問看護、訪問介護には往診は含みません。
① あなたの生活のしづらさの直接の原因となっている障害、病気、けが等のための通院や在宅医療（往診）
1　毎日
2　2～3 日に 1 回程度
3　1 週に 1 回程度
4　2 週に 1 回程度
5　1 ヶ月に 1 回程度
6　2～3 ヶ月に 1 回程度
7　半年に 1 回程度
8　1 年に 1 回程度
9　医療機関にかかっていない
② あなたの生活のしづらさとは直接関連のない通院等
1　毎日
2　2～3 日に 1 回程度
3　1 週に 1 回程度
4　2 週に 1 回程度
5　1 ヶ月に 1 回程度
6　2～3 ヶ月に 1 回程度
7　半年に 1 回程度
8　1 年に 1 回程度
9　医療機関にかかっていない

図 12.問 31

する。選択肢②に説明と具体例を追加するが考えられる。

(13)問 36　生活のしづらさ・困っていること等（自由記述）

設問を図 13 に示す。

問 36（生活のしづらさ、困っていること等の自由記述）
あなた（調査の対象となる方）が感じている生活のしづらさ、困っていること等がありましたら、ご自由にご記入ください。

図 13.問 36

①意見・要望

もっと具体的に聞いてほしいという回答が確認された。

②改善案

「調査票の設問以外で」「具体的に」といった誘導文を追加する。設問を分割することも選択肢に挙げられるが、回答者の負担感への配慮が必要であり、慎重な検討を要するが考えられる。

(14)問 37　自由記述（調査全体）

設問を図 14 に示す。

| |
|---|
| 問 37（自由記述回答）<br>この調査の方法や内容についての改善について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。 |

図 14.問 37

①分量

・意見・要望

設問や文字の量が多く負担に感じるという回答が確認された。

・改善案

削減可能な設問・文字を精査し、全体の分量を減らすが考えられる。

②読みやすさ

・意見・要望

文字が小さい。ふりがなが薄くて読みづらいという回答が確認された。

・改善案

文字サイズを拡大した版を作成する。識別しやすいフォントへ変更し、印刷濃度を高める。ふりがなを大きく、読みやすくするが考えられる。

③実施方法

・意見・要望

インターネット・スマートフォンで回答したい。調査票は郵送にしてほしい。面接・対面・聞き取り調査を希望するという回答が確認された。

・改善案

パソコン・スマートフォン対応の WEB 調査票を作成する。郵送対応を検討する。希望者には面接・聞き取り調査を実施するが考えられる。

④対象者の選定

・意見・要望

同一世帯に複数の対象者がいる場合、誰が回答すべきかわからない。対象者の基準があいまいで不安を感じた。調査対象でないと思われる人にも配布されたという回答が確認された。

・改善案

対象者を明確に指定する。調査の目的・趣旨・対象者の選定基準についてわかりやすい説明資料や動画を作成し、調査者が活用できるようにする。問い合わせ窓口を設置するが考えられる。

⑤家族・支援者調査の要望

・意見・要望

家族および支援者への調査も実施すべきであるという回答が確認された。

・改善案

本調査への追加、または別途独立した調査として、家族調査・支援者調査の実施を検討するが考えられる。

⑥調査時期

・意見・要望

年末は多忙であるため、調査時期を変更してほしいという回答が確認された。

・改善案

回答者の負担を軽減する観点から、調査時期の変更を検討するが考えられる。

⑦結果の周知

・意見・要望

調査結果を知りたい。結果がどのように活用されるか、いつ公表されるかわからないという回答が確認された。

・改善案

結果の活用方法・公表時期・公表先をわかりやす

くまとめた資料を作成し、配布・説明する。結果公表後はURL等をメール・はがきで周知するが考えられる。

⑧調査実施上の配慮

・意見・要望

調査が詐欺やセールスと混同されることへの不安があった。調査員の訪問時に配慮がなかった。調査員が大声で話したため、病気や障害を周囲に知られてしまった。プライバシーへの配慮が不十分だったという回答が確認された。

・改善案

調査員に対し、調査倫理・プライバシー保護・配慮のあり方について徹底した指導・研修を行う。苦情受付窓口を設置し、問題発生時に適切に対応できる体制を整備するが考えられる。

D．考察

本研究は、令和6年度に実施した令和4年生活のしづらさなどに関する調査（問37）の自由記述式回答1,353件の分析結果をもとに、調査票の改訂に向けた改善案を提示したものである。

調査の実施方法に関しては、目的・趣旨および対象者の選定基準に関する説明、調査員の訪問時の対応、プライバシー保護について、回答者から懸念や改善を求める意見が寄せられていた。調査票の内容・構成については、設問・用語のわかりにくさや選択肢の選びにくさに関する意見が複数確認された。個別設問では、問3、問11、問13、問14、問15、問17、問19、問23・24、問27、問28、問29、問31、問36について具体的な改善の意見・要望が寄せられており、選択肢の妥当性や回答指定の明確化を求める声が目立った。調査の運用面では、分量・文字の読みやすさ・回答手段の多様化・調査時期・結果の還元に関する意見も寄せられた。これらの意見・要望は、今後の調査設計・運用を検討する上での参考になると考えられる。

E．結論

本研究は、令和6年度に実施した令和4年生活のしづらさなどに関する調査の自由記述式回答の分析結果に基づき、調査設計・実施・回答過程における意見・要望を整理し、改善案を提示した。主な論点は、①調査の目的・趣旨および対象者に関する説明の充実、②配布・訪問時のプライバシー保護への配慮、③設問・選択肢のわかりやすさと回答しやすさの改善、④多様な回答手段の導入の検討の4点に整理された。今後、障害のある当事者・家族の意見・要望が調査実施や調査票に反映されることで、より的確な回答を収集され、制度の設計や運用の参考資料となることが期待される。

F．研究発表

なし

G．知的財産権の出願・登録状況

なし

引用文献

1. 樋口耕一・中村康則・周景龍．動かして学ぶ！はじめてのテキストマイニング．2022．ナカニシヤ出版．

表 1. 意見・要望と改善案の概要

| カテゴリ | 設問／項目 | 意見・要望 | 改善案 |
|---|---|---|---|
| 質問全体 | 全体 | 調査票・設問・選択肢がわかりにくく回答しにくい。用語が難しく、選択肢が選びにくい。 | 設問・選択肢・用語をわかりやすく改める。回答に迷いやすい箇所には回答例を示す。 |
| 個別設問 | 問 3（性別） | 「その他」「無回答」の選択肢がほしい。 | 近年の議論を踏まえ「その他」「回答しない」を追加する。 |
| 個別設問 | 問 11（難病） | 設問がわからない。難病か判断しにくく答えづらい。指定難病の一覧 QR コードがほしい。 | 文言をわかりやすくする。指定難病 338 疾病を別紙添付または QR コードで参照できるようにする。 |
| 個別設問 | 問 13（心身の状態） | 中間の選択肢がほしい。 | 「苦労します」等の中間選択肢を追加する。または「最も近いもの」を選ぶ形式に変更する。 |
| 個別設問 | 問 13 ①（眼鏡） | 障害によるものか視力低下によるものか迷う。 | 判断の目安となる説明を追加する。 |
| 個別設問 | 問 13 ②（補聴器） | 補聴器なしで聞こえる場合の回答がわからない。 | 「支障がない場合は『苦労はありません』を選ぶ」等の回答例を追記する。 |
| 個別設問 | 問 13 ⑦（ボトルを持ち上げる） | 両手か片手かわからない。 | 片手・両手の別を明示した説明を追加する。 |
| 個別設問 | 問 13⑨⑩ | 中間の選択肢がほしい。わかりづらい。 | 「最も近いもの」を選ぶ形式に変更する。 |
| 個別設問 | 問 14（日常会話の聞きとり） | 声は聞こえるが内容がわからない場合、どの選択肢を選ぶかわからない。 | 選択肢の表現を修正するか、回答例を示す。 |
| 個別設問 | 問 15（生活のしづらさ） | 全体や⑫⑬の選択肢がわかりにくい。 | わかりやすい表現に改め、説明を追加する。 |
| 個別設問 | 問 17（日中の過ごし方） | わかりにくく回答に迷った。当てはまる選択肢がない。 | 説明を追加する。「その他」の選択肢を設ける。 |
| 個別設問 | 問 19（同一世帯の方） | 表現がわかりづらい。 | わかりやすい表現に改める。 |
| 個別設問 | 問 23・問 24（用具・機器） | 問 23 の用具と問 24 の機器が同一か別かわからない（例：補聴器）。問 24 の補問がわかりにくい。 | 用具と機器の区別を明示する説明を追加する。補問の表現をわかりやすくする。 |
| 個別設問 | 問 27（障害福祉サービス） | 証明書を見たが区分の記載箇所がわからない。 | 証明書内の記載箇所を図示し、不明な場合の対応方法を追加する。 |
| 個別設問 | 問 28（必要な支援） | 主な 7 つに絞るのが難しい。選択肢が次ページに続くことに気づかなかった。 | 「上位 7 つ」または「すべて選ぶ」に変更する。次ページに続く場合は「次ページにつづく」と明記する。 |
| 個別設問 | 問 29（収入を得る仕事） | 「働いていない」の選択肢がほしい。就労継続支援 B 型も含めてほしい。補問に「その他」がほしい。 | 「働いていない」の説明を付記する。就労継続支援 B 型を選択肢に加える。「その他」を追加し表現をわかりやすくする。 |
| 個別設問 | 問 31（医療を受ける頻度） | 通院先が複数あり 1 つに絞れない。②の「生活のしづらさと直接関連のない通院」の意味がわからない。 | 最も頻繁な通院先を選ぶよう指定する。②に説明・例を追加する。 |
| 個別 | 問 36 | もっと具体的に聞いてほし | 「設問以外で」「具体的に」等の誘導文 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| **設問** | （自由記述） | い。 | を追加する。設問を分割することも検討するが、負担感への配慮が必要。 |
| **内容以外** | 問 37①分量 | 設問・文字の量が多い。 | 削減可能な設問・文字を精査し減らす。 |
| **内容以外** | 問 37<br>②読みにくさ | 文字が小さい。ふりがなが薄くて読みづらい。 | 大きい文字版を作成する。識別しやすいフォントに変更し、印刷を濃くする。 |
| **内容以外** | 問 37<br>③実施方法 | インターネット・スマホで回答したい。郵送にしてほしい。面接・聞き取り調査がよい。 | WEB 調査票（PC・スマホ対応）を作成する。郵送対応を検討する。希望者には面接・聞き取り調査を実施する。 |
| **内容以外** | 問 37<br>④対象者の選定 | 同一世帯に複数の対象者がいる場合、誰が対象かわからない。基準があいまいで不安だった。 | 対象者を明示する。目的・基準の説明資料・動画を作成し調査者が使用する。問い合わせ窓口を設置する。 |
| **内容以外** | 問 37<br>⑤家族・支援者調査 | 家族・支援者への調査も必要。 | 本調査への追加または別調査として家族・支援者調査を実施する。 |
| **内容以外** | 問 37<br>⑥調査時期 | 年末は忙しいので時期を変えてほしい。 | 調査時期の変更を検討する。 |
| **内容以外** | 問 37<br>⑦結果の周知 | 結果を知りたい。活用方法・公表時期がわからない。 | 活用方法・公表時期・公表先をまとめた資料を作成・配布する。公表後は URL 等をメール・はがきで周知する。 |
| **調査実施上の配慮** | 問 37<br>調査員の対応 | 調査が詐欺・セールスでないか不安だった。調査員が大声で話し病気・障害を周囲に知られた。プライバシーへの配慮がなかった。 | 調査員の倫理・プライバシー保護・配慮の徹底を図る。苦情受付窓口を設置する。 |